

令和5年度 浜松市の男女共同参画に関する市民意識調査

日ごろ、市政の推進につきまして、ご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。


浜松市では、男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画を推進する施策・事業の実施に努めています。本調査は、男女共同参画や女性活躍推進等に関する市民の皆さまのお考え等をお伺いし、施策・事業を見直すための基礎資料として活用することを目的に実施するものです。

つきましては、お忙しいところ誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

2023年（令和5年）9月

浜松市長 中野 祐介

【ご回答にあたって】

対象者	2023年（令和5年）8月1日時点で、浜松市内在住の満18歳以上の方から無作為に抽出した2,500人の市民
回答者	<ul style="list-style-type: none">・封書のあて名に記載されているご本人様にご回答ください。・ご本人様による回答が難しい場合は、お手伝いいただける方が、ご本人様から聞き取り、回答してください。・回答はすべて無記名です。<u>個人が特定されることはありません。</u>
回答方法	<p><u>この調査票またはインターネットのいずれかでご回答ください。</u> AかBのどちらか1つを選択してください。</p> <p>A) この調査票（紙）による回答 <u>この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。お名前・ご住所の記入は不要です。</u></p> <p>B) インターネットによる回答 <u>スマートフォン、タブレット、パソコンからご回答ください。</u></p> <p>①回答専用WEBサイトにアクセス https://survey.zohopublic.jp/zs/D2gPEN</p> <p>②調査票ID入力（この調査票の右上の6桁の番号） <u>※IDは重複回答を避けるためのものであり、個人を特定するものではありません。</u></p> <p>③回答フォームに入力</p> <p>令和5年10月15日（日）までにご回答ください。</p> 
集計・公表	調査結果は、市ホームページにおいて公表いたします。 回答内容は全て統計的に処理し、 <u>個人情報が公表されることはありません。</u>

「ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。」

浜松市 市民部 UD・男女共同参画課 〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
電話 (053)457-2561 Email: ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp

◆ 男女共同参画意識と性別役割分担について

問1 あなたは、次の分野で男女が平等であると思いますか。(それぞれ1つに○)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている
①家庭生活	1	2	3	4	5
②職場	1	2	3	4	5
③学校教育の場	1	2	3	4	5
④地域活動の場 (自治会・PTAなど)	1	2	3	4	5
⑤政治の場	1	2	3	4	5
⑥社会通念・ 慣習・しきたり	1	2	3	4	5
⑦法律や制度	1	2	3	4	5

問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るのがよい」という考え方について、あなたはどのように考えますか。(1つに○)

1 賛成	2 どちらかといえば賛成
3 どちらかといえば反対	4 反対

問3 あなたが望ましいと考える家庭における役割分担に最も近いものはどれですか。(1つに○)

1 夫も妻も働き、両方で家事・育児・介護等をするのがよい
2 夫も妻も働き、家事・育児・介護等は妻がするのがよい
3 夫も妻も働き、家事・育児・介護等は夫がするのがよい
4 夫が働き、妻は家事・育児・介護等をするのがよい
5 妻が働き、夫は家事・育児・介護等をするのがよい
6 その他 ()

問4 家庭生活の中で、次の事柄について主にどなたが行っていますか。(それぞれ1つに○)

	主に夫	夫と妻 が同じ 程度	主に妻	家族で 交替・ 分担	有償サ ービス の利用	自分の み(単身 者等)	該当 なし
①食事の用意	1	2	3	4	5	6	7
②食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7
③食料品、日用品の買物	1	2	3	4	5	6	7
④ごみ出し	1	2	3	4	5	6	7
⑤掃除	1	2	3	4	5	6	7
⑥洗濯	1	2	3	4	5	6	7
⑦赤ちゃんの食事の世話	1	2	3	4	5	6	7
⑧赤ちゃんのオムツの替え	1	2	3	4	5	6	7
⑨赤ちゃんをお風呂に入れる	1	2	3	4	5	6	7
⑩保育園・幼稚園、習い事等の送迎	1	2	3	4	5	6	7
⑪子供の勉強をみる	1	2	3	4	5	6	7
⑫学校等の行事への参加	1	2	3	4	5	6	7
⑬自治会等の地域活動	1	2	3	4	5	6	7
⑭高齢の親の介護	1	2	3	4	5	6	7

問5 あなたが、家事・育児・介護等（問4の①～⑭の項目内容）に従事する1日の平均時間はどのくらいですか。平日、休日それぞれについてご記入ください。（数字を記入）

【平日】	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分	【休日】	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
------	----------------------	----	----------------------	---	------	----------------------	----	----------------------	---

◆ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問6 「仕事」「家庭生活（家事・育児・介護等）」「個人の生活・地域活動（趣味・学習・ボランティア・自治会・PTA等）」の優先度について、あなたの理想に最も近いものはどれですか。

（1つに○）

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「個人の生活・地域活動」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「個人の生活・地域活動」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「個人の生活・地域活動」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活・地域活動」をともに優先したい
- 8 その他（ ）

問7 あなたの現状（現実）に最も近いものはどれですか。（1つに○）

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「個人の生活・地域活動」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「個人の生活・地域活動」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「個人の生活・地域活動」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活・地域活動」をともに優先している
- 8 その他（ ）

問8 あなたは、男性が女性とともに「家庭生活」や「地域活動」に積極的にたずさわっていくためには、何が**必要だ**と思いますか。（あてはまるもの全てに○）

- 1 家庭生活や地域活動にかかわることへの男性自身の抵抗感をなくすこと
- 2 男性が家事・育児・介護などにかかわることへの女性の抵抗感をなくすこと
- 3 配偶者・パートナー・家族間で、お互いを尊重しコミュニケーションをよくはかること
- 4 社会のなかで、男性の家事・育児・介護への参加に対する理解を広めること
- 5 労働時間の短縮や休暇制度等の普及を進め仕事以外の時間をより多くもてるようにすること
- 6 職場において家庭生活や地域活動にかかわりやすい雰囲気をつくること
- 7 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 8 男女の役割分担等について、周囲が慣習やしきたりなどを押しつけないこと
- 9 男性の家事や子育て、介護等の啓発や情報提供、相談窓口設置、技能向上を図ること
- 10 男性が家事・育児・介護を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進めること
- 11 その他（ ）

◆ 意思決定の決定過程への女性の参画について

問9 現状では、政治や企業、地域活動などにおいて、意思決定を行う立場や地位への女性登用が未だに少ない状況です。あなたは、意思決定の場に女性が参画することについて、どのように考えますか。(1つに○)

- 1 男性を上回るまで増える方がよい
- 2 男女半々になるくらいまで増える方がよい
- 3 男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい
- 4 今のままでよい
- 5 その他 ()

問10 あなたは、政治や企業、地域活動などにおいて、意思決定をする管理職や指導的立場に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 女性自身が管理職や地域の役職につくことに消極的だから
- 2 性別により男女の役割を固定する考え方や社会通念が根強く残っているから
- 3 男性優位の組織運営であるから
- 4 家族の理解や協力が得られないから
- 5 女性の能力を高める機会が少ないから
- 6 女性ということで正当な評価を得られないことが多いから
- 7 その他 ()

◆ 女性の活躍推進について

問11 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたの考えに最も近いのはどれですか。(1つに○)

- 1 女性は職業を持たないほうがよい
- 2 結婚するまでは職業を持つほうがよい
- 3 子供ができるまでは職業を持つほうがよい
- 4 子供ができたら職業をやめ、子供が大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- 5 育児・介護等にかかわらず、ずっと職業を持ち続けるほうがよい
- 6 その他 ()

問 12 女性が職業を持つことについて、あなたの現状にあてはまるもの、または、あてはまると思われるものはどれですか。(1つに○)

※男性の方は、配偶者・パートナーの働き方など、ご家庭での状況で現状にあてはまる、またはあてはまると思われるものをお答えください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 職業を持っていない |
| 2 結婚するまでは職業を持つ |
| 3 子供ができるまでは職業を持つ |
| 4 子供ができたら職業をやめ、子供が大きくなったら再び職業を持つ |
| 5 育児・介護等にかかわらず、ずっと職業を持ち続ける |
| 6 その他 () |

問 13 あなたは、女性が継続して働くうえで、障害となっていることは何だと思いませんか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 結婚・出産退職等の慣行 | 2 賃金の男女格差 |
| 3 昇進・昇格における男女の格差 | 4 仕事内容における男女の格差 |
| 5 長時間労働や残業 | 6 雇用形態にパートや臨時雇いが多いこと |
| 7 育児施設・介護施設の不足 | 8 職場における人間関係 |
| 9 女性自身の就業意欲が低いこと | 10 女性自身の知識や技術不足 |
| 11 生理や更年期障害等の女性特有の健康課題があること | |
| 12 育児休業・介護休業が取得しにくい環境にあること | |
| 13 育児休業・介護休業の制度が整っていないこと | |
| 14 家族に反対されたり、協力が得られないこと | |
| 15 その他 () | |

問 14 あなたは、女性が離職せずに同じ職場で働き続けられるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いませんか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|--|
| 1 保育所や放課後児童会など、子供を預けられる環境の整備 |
| 2 家事・育児支援サービスの充実 |
| 3 介護支援サービスの充実 |
| 4 デジタル技術を活用したサービスの充実 |
| 5 男性の家事参加への理解・意識改革 |
| 6 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革 |
| 7 働き続けることへの女性自身の意識改革 |
| 8 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の改革 |
| 9 職場における育児・介護との両立支援制度の充実 |
| 10 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入 |
| 11 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な扱いの禁止 |
| 12 企業が組織として働き方に柔軟性を持たせること |
| 13 その他 () |

◆ DV（ドメスティック・バイオレンス）について

※DVとは配偶者（元配偶者、事実婚、生活の本拠を共にする交際相手も含む）やパートナーなど親しい間柄にある（あった）者の間の暴力のこと

問 15 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、暴力だと思いますか。（それぞれ1つに○）。

	どのような場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたらないと思う
①平手で打つ	1	2	3
②足で蹴る	1	2	3
③からだを傷つける可能性のある物などで殴る	1	2	3
④殴るふりをして、おどす	1	2	3
⑤大声で怒鳴る	1	2	3
⑥家族や友人との関わりを制限する	1	2	3
⑦交友関係や電話・メール・SNSを細かく監視する	1	2	3
⑧他の異性との会話を許さない	1	2	3
⑨何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑩「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う	1	2	3
⑪生活費を渡さない	1	2	3
⑫相手の金品を勝手に使ったり借金を強要する	1	2	3
⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑭避妊に協力しない	1	2	3

問 16-1 配偶者やパートナーなどからの身体的（殴る、蹴る）、精神的（暴言や無視等）、経済的（生活費を渡さない等）、性的（性行為の強要）な暴力について、あなたの経験や知識としてあてはまるものはどれですか。（あてはまるもの全てに○）

1 自分が何らかの暴力をしたことがある	2 自分が何らかの暴力を受けたことがある
3 身近な人から相談を受けたことがある	4 社会問題になっていることを知っている
5 DVが人権侵害であることを知っている	6 特にない
7 その他（	）

※「2」を選んだ方は問 16-2 へ、「2」を選ばなかった人は問 17 へ

問 16-2 問 16-1 で「2 自分が何らかの暴力を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。

あなたは、そのときどのような助けがあればよいと思いましたか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 身近な人からの助言・援助 | 2 同じような経験をした人からの助言 |
| 3 法律や医療等専門家からの助言 | 4 いつでも相談できる相談窓口 |
| 5 一時的に身を隠せる安全な場所 | 6 金銭的な援助 |
| 7 特になかった | |
| 8 その他() | |

問 16-3 問 16-1 で「2 自分が何らかの暴力を受けたことがある」と答えた方にお聞きします。

あなたは、配偶者やパートナーなどから受けた暴力について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 相談した (→問 16-4 へ) | 2 相談しなかった (→問 16-5 へ) |
|--------------------|-----------------------|

問 16-4 問 16-3 で「1 相談した」と答えた方にお聞きします。だれ(どこ)に相談しましたか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 |
| 3 職場の同僚 | 4 公的機関の相談窓口 |
| 5 民間の相談機関 | 6 司法の専門家や専門機関 (弁護士・法テラス等) |
| 7 病院などの医療機関 | 8 警察 |
| 9 その他() | |

→問 17 へ

問 16-5 問 16-3 で「2 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 相談するほどのことではないと思ったから |
| 2 どこ(だれ)に相談していいのかわからなかったから |
| 3 相談しても無駄だと思ったから |
| 4 恥ずかしくてだれにも言えなかったから |
| 5 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから |
| 6 自分にも悪いところがあると思ったから |
| 7 世間体が悪いから |
| 8 別れるつもりがなかったから |
| 9 DVを受けているとは認識していなかったから |
| 10 加害者が改心してくれると思ったから |
| 11 相談して別れても経済的に生活していけないと思ったから |
| 12 その他() |

→問 17 へ

問 17 あなたは、配偶者やパートナーなどからの暴力をなくしたり、被害者を支援するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 相談できる窓口や支援機関を増やす |
| 2 | 法律・制度の見直しを行う |
| 3 | 犯罪として認定し、取り締まりを強化する |
| 4 | 一時的に身を隠せる安全な場所を確保する |
| 5 | 金銭的な支援を充実させる |
| 6 | 配偶者やパートナーからの暴力防止について、広報活動や啓発の機会を増やす |
| 7 | 子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う |
| 8 | テレビや雑誌、インターネットなどの暴力的な情報を規制する |
| 9 | 暴力をふるう加害者への対策を進める |
| 10 | 男女間の経済的、社会的な地位や力の格差をなくしていく |
| 11 | DVは人権侵害であることを周知していく |
| 12 | その他 () |

問 18 あなたは、DVや女性が抱える様々な悩みに関する相談窓口があることを知っていますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|-----------------------------|----|---------------------|
| 1 | 浜松市DV相談専用ダイヤル | 2 | 区役所社会福祉課の女性相談 |
| 3 | あいホール相談室 | 4 | ひとり親サポートセンター |
| 5 | はままつ女性の健康相談 | 6 | DV相談ナビダイヤル#8008 |
| 7 | DV相談+ (プラス) | 8 | 女性の人権ホットライン |
| 9 | 法テラス (犯罪被害者支援ダイヤル) | 10 | マザーズハローワーク浜松 |
| 11 | 静岡県女性相談センター | 12 | あざれあ女性相談 |
| 13 | 性暴力SNS相談 (Cure Time) | 14 | 静岡県性暴力被害者支援センターSORA |
| 15 | 性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター#8891 | | |
| 16 | 警察署 | 17 | 知らない |
| 18 | その他 () | | |

◆ 男女共同参画の推進拠点施設について

問 19 あなたは、男女共同参画の推進拠点施設である「浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)」を利用したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 施設を知っていて、利用したことがある |
| 2 | 施設は知っているが、利用したことがない |
| 3 | 施設を知らない |

問 20 「あいホール」では次のような男女共同参画に関する業務を行っていますが、どのような役割を期待しますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 女性を対象とした学習機会の充実 |
| 2 | 女性を対象としたキャリアアップや就労継続支援の充実 |
| 3 | 男性を対象とした講座の充実 |
| 4 | 男女共同参画についての講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催 |
| 5 | 女性を対象とした相談機能の充実 |
| 6 | 男性を対象とした相談機能の充実 |
| 7 | 男女共同参画についての自主的な学習活動・NPO・ボランティアの活動支援 |
| 8 | 男女共同参画や女性活躍推進についての幅広い情報、書籍、資料等の収集・提供 |
| 9 | その他 () |

◆ 性の多様性について

問 21 あなたはLGBTQ (性的マイノリティ・性的少数者) という言葉を知っていますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------------|
| 1 | 言葉も意味も知っている | 2 | 言葉は知っているが意味は知らなかった |
| 3 | 知らなかった | | |

※LGBTQとは、レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシャル(両性愛者)、トランスジェンダー(社会から割り当てられた性と性自認が一致しない人)、クエスチョニング(性自認や性的指向が明確でない人、明確にしたいくない人)の頭文字を取った言葉で、性的マイノリティ(性的少数者)の総称として使われる言葉です。

問 22 あなたはLGBTQなどの性的マイノリティの方々への支援のために、どのような取組が必要だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|-----------------|---|-------------------|
| 1 | 市民に理解を広めるための啓発 | 2 | 企業に理解を広めるための啓発 |
| 3 | 子どもに対する教育 | 4 | 行政職員や教職員への研修 |
| 5 | 相談窓口の設置 | 6 | 当事者同士が交流できる居場所づくり |
| 7 | 社会制度(法律・条例等)の整備 | 8 | トイレ・更衣室等の社会環境の整備 |
| 9 | 書類の性別欄の見直し | | |
| 10 | その他 () | | |

◆ コロナ禍以降の生活の変化について

問 23 あなたは、新型コロナウイルス感染症拡大以降、生活や行動に次のような変化がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|---------------------|---|-----------------|
| 1 | 仕事の負担が増えた | 2 | 職を失ったり収入が減ったりした |
| 3 | 精神的な不安やイライラすることが増えた | 4 | 家事の負担が増えた |
| 5 | 育児・介護の負担が増えた | 6 | 家族との関係が悪化した |
| 7 | 孤独を感じるようになった | 8 | 健康についての不安が増した |
| 9 | その他 () | | |

